

## さいたま市総合振興計画審議会 第1回における主な意見

## 【都心地区のあり方について】

## ●大宮駅周辺・さいたま新都心周辺のまちづくりに関する意見

- ・ さいたま新都心と大宮のエリアは、非常に近接している。さいたま市全体として考えたときに、一大都心形成のチャンスということを手く生かしてほしい。具体的には、歩いて回れるまちづくりを進めていく必要がある。特に、さいたま新都心方向に移転した大宮区役所周辺エリアのまちづくりや、氷川参道を中心とした歩くネットワークの形成など、ウォーカビリティ（歩いて楽しいまちづくり）をより強化することが大切。
  - ・ 新庁舎の整備については、デジタル化が一つのキーワードになる。
  - ・ 新都心周辺の流動人口を考える必要がある。
  - ・ 新都心から氷川神社まで続く氷川参道について、歩行者用道路が整備されている。歩道の沿道が開発されれば、観光地として人を呼び込める。
  - ・ スポーツの遠征で様々なまちを訪れた際に、県庁があり、市役所があると、行政機関の中心だと気づくことがある。そのような気づきを与えることができるような、シンボルとなる新庁舎であるべき。
  - ・ 新庁舎の規模が数字で示されていたが、イメージが上手くできないため、わかりやすく教えていただきたい。また、演奏会場など、行政機能以外に導入するものはあるか。
- ⇒ 新庁舎整備予定地の敷地面積は、現庁舎地の半分程度。いわゆる本庁機能の床面積は、約 39,000 m<sup>2</sup>から約 43,000 m<sup>2</sup>に増える予定。増える部分については、市民交流機能が約 2,000 m<sup>2</sup>程度増える予定である。また、費用削減の観点から、商業・業務機能等の民間施設との合築も検討している。

## ●浦和駅周辺のまちづくりに関する意見

- ・ 市営の大規模な美術館がないのは、政令指定都市の中でさいたま市のみである。現庁舎地の利活用は、美術館が施設として入り、教育機能・市民交流機能も含められるとよい。
- ・ 浦和駅周辺は人の動きが寂しくなることも考えられるため、人の流動を維持できるような仕組みが必要。
- ・ さいたま市立の大規模な美術館はないため、浦和駅周辺に整備してほしい。
- ・ 令和元年台風 19 号の時に、市外から浦和に避難をしてきた人がいるという話を伺っている。跡地の利活用として、避難スペースも必要。
- ・ 浦和における生涯学習のまちづくりについて、多世代交流の視点が重要である。
- ・ 現庁舎地を利活用する際は、駅から遠い場所にあるので、車いすの方のための送迎バス等の移動手段が必要。また、文教のシンボルとして、誰もが使いやすい空間づ

くりを目指してほしい。

- ・ 現庁舎地の利活用について、大学を誘致してはどうか。全て公的資金で整備する必要もなくなるし、大学生が日常的に集まる場所であれば、社会人の生涯学習の場所にもなる。

### ●2つの都心地区の関係に関する意見

- ・ 大宮とさいたま新都心の有機的なつながりだけでなく、さいたま新都心と浦和のつながりについても検討する必要がある。
  - ・ 2つの都心の間にある北浦和や与野の都市計画や構想について、どのような取組が予定されているか。
- ⇒ 都市計画マスタープランにおいて、2つの都心の上に位置する北浦和、与野は、中心市街地という重要なエリアとして位置づけられている。また、北浦和については、（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョンのおおむねの範囲に含まれている。与野についても、さいたま新都心ビジョンの改定の中で検討していく予定。

## 【将来的な都市づくりの方向性について】

### ●交通ネットワークに関する意見

- ・ さいたま市は、まちの真ん中を国道や鉄道が縦断している。庁舎がその軸の西側から東側に移転するため、今までとは人の流れ・交通の流れが変わるのではないか。新庁舎整備予定地周辺の交通整備が必要ではないか。
- ・ 副都心の位置づけがある岩槻と美園をつなぐ鉄道がいまだ繋がっていない状況がある。
- ・ 新庁舎については、4つの副都心からのアクセスが悪いため、改善が必要。

### ●グローバル化に関する意見

- ・ 羽田・成田・茨城空港との接続や、東日本のへそであるという立地を生かして、海外から人を呼び込む医療等の構想が必要。
- ・ 現在、外国人市民は市民全体の2%を占めており、微増傾向にある。外国人市民が魅力を感じるような多文化共生のまちづくりをしてほしい。さいたま新都心にはスーパーアリーナ、美園地区にはサッカー場があるので、世界大会等でこれからも多くの外国人が訪れるだろう。
- ・ 将来的な産業構造を考えると、グローバル化の視点は外せない。世界との接点という視点を強く意識したまちづくりが望まれる。

### ●防災に関する意見

- ・ 最近、自治会等の組織に所属することに抵抗がある人が多い。防災力向上のためには、人同士の助け合いが大切である。

- ・ スポーツについて、新しい施設を整備する場合は財政的な問題が出てくる。市民が気軽に楽しめる場所と災害避難場所としても活用できる機能を備えた施設整備を考えてほしい。さいたま市は政令指定都市の中で、そのような施設が少ないと思うが事実関係はどうか。

### ●福祉に関する意見

- ・ 障害者が安心して暮らせるまちづくりが、健常者や高齢者にとっても安心して暮らせるまちづくりになると思う。
  - ・ 資料全体を通して、「安心した暮らし」がキーワードと感じるが、「高齢者」についての記載が目立っていると感じる。「障害者」の方の「安全・安心」についても含まれるか。
- ⇒ 資料1「現行の総合振興計画について」における、「各分野の政策と施策」第6章の「福祉」の分野では、障害者等の方も含んでいる。

### ●その他

- ・ 今後の人口減少を見据えて、さいたま市内の活動団体や市民が行政と一緒にやっというように思えるようなまちづくりをすることが、若い世代の転入が増えて、明るい社会になるポイント。
  - ・ 公共施設について、さいたま市は非常に少ないと感じている。具体的には、会議室が足りていないため、新都心も浦和も増やしてほしい。
  - ・ 浦和はサッカーのまちとして有名で、新都心も様々なスポーツの催しが行われている。さいたま市として、様々なスポーツを一カ所で楽しめる公共の場所が必要。
- ⇒ 第2回以降の資料において提示する。
- ・ 埼玉県庁の移転について、状況がわかれば教えていただきたい。
- ⇒ 埼玉県庁については新聞等で報道されているとおりで、昨年度から県庁内部で検討が始まっている。
- ・ 私の周りは高齢者が多く、浦和から新都心に移転することで、駅から近くなるので助かる。
  - ・ さいたま商工会議所は、4つの商工会議所が合併することで誕生した。誕生して20年経つが、地域性はまだ残っている。市役所が移転し、名実ともにさいたま市の中心となることが重要だと思う。

### ※ 市民意見の収集に関する意見

- ・ 今後、市民の方への意見聴取をしていくと思うが、将来を担う若者世代の人たちの意見を聞くことが大切。若者世代の意見を聴取し、この審議会で共有してほしい。
- ⇒ 若い世代限定ではないが、第1回審議会後にWEBアンケートによる市民意見の収集を実施し、第3回審議会で意見を紹介する予定。

- ・ WEBアンケートの聞き方をどのようにするのか。公共施設の総量を縮小させていく方向の中で、どのような機能がほしいか等をお伺いすると、意見への対応が難しくなるのではないか。
- ⇒ WEBアンケートについては、本日の審議会で配付した資料を添付し、本日の審議のポイントと同様の新庁舎の移転整備後のまちづくりに期待することを自由記述形式で伺う予定。